

岩見沢市・北村・栗沢町
合併協定調印式

《 会 議 録 》

会 場：岩見沢平安閣 4階「平安の間」

日 時：平成17年2月25日(金) 午前11時

岩見沢市・北村・栗沢町合併協定調印式 会議録

開催年月日：平成17年2月25日（金）

開催場所：岩見沢平安閣 4階「平安の間」

開 会：午前11時

閉 会：午前11時33分

合併協定調印式出席者

【来 賓】

北海道副知事 山 本 邦 彦

【3市町村長】

岩見沢市長 渡 辺 孝 一

北村長 村 上 宗 範

栗沢町長 山 田 晃 睦

【合併協議会委員】

岩見沢市助役 増 子 一 男

岩見沢市議会議長 村 上 勝 則

岩見沢市議会副議長 片 倉 弘 之

岩見沢市議会議員 仁 志 紘 一

岩見沢市議会議員 大 和 力

前岩見沢商工会議所専務理事 小 林 智 幸

いわみざわ農業協同組合専務理事 村 木 秀 雄

岩見沢市町会連合会会長 高 柳 力 雄

社団法人岩見沢青年会議所直前理事長 近 江 利 啓

北村助役 木 下 繁 雄

北村議会議長 窪 田 孝 雄

北村議会副議長 戸 田 英 雄

北村農業委員会会長 和 田 孝 霽

北村教育委員会教育長 海 津 順 吉

学識経験者 小 松 昭 夫

北村農民協議会委員長 上 條 耕 一

北村商工会監事 佐 藤 恭 二

栗沢町助役 二ツ川 利 彦

栗沢町議会議長 南 達 雄

栗沢町議会副議長 笹 島 清 一

栗沢町議会議員 天 崎 弘

栗沢町議会議員 松 永 仁 章

社会福祉法人栗沢福祉会理事長 吉 永 忠 邦

栗沢町まちづくり団体代表 中 田 信 廣

栗沢町農民協議会前書記長 堀 田 敏 孝

栗沢町商工会前青年部長 早 田 健

【自治体関係者】

北海道空知支庁副支庁長 渡 辺 彰

合併協議会監査委員北村監査委員 竹 本 雅

合併協議会監査委員栗沢町監査委員 川 西 武 彦

岩見沢市・北村・栗沢町合併協定調印式次第

1 開 会

2 来賓紹介

3 経過報告

4 協定書調印

岩見沢市長	渡 辺 孝 一
北 村 長	村 上 宗 範
栗 沢 町 長	山 田 晃 睦

5 立会人署名

北海道副知事	山 本 邦 彦 様
--------	-----------

6 記念撮影

7 主催者挨拶

岩見沢市長	渡 辺 孝 一
北 村 長	村 上 宗 範
栗 沢 町 長	山 田 晃 睦

8 来賓祝辞

北海道副知事	山 本 邦 彦 様
--------	-----------

9 閉 会

1. 開 会

下野次長：本日はご多用のところ、ご臨席を賜り、まことにありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまから岩見沢市・北村・栗沢町合併協定調印式を始めさせていただきますと存じます。

私は本日の進行を務めさせていただきます合併協議会事務局次長の下野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 来賓紹介

下野次長：それでは、初めにご来賓としまして北海道副知事山本邦彦様にご出席をいただいておりますので、ご紹介を申し上げます。

3. 経過報告

下野次長：続きまして、岩見沢市・北村・栗沢町の合併に向けたこれまでの取り組みの経過につきまして、合併協議会事務局長寺林良次よりご報告申し上げます。

寺林局長：合併協議会事務局の寺林でございます。

それでは、岩見沢市・北村・栗沢町の合併に向けたこれまでの取り組みの経過につきましてご報告をさせていただきます。

皆様のお手元に配付してございます本日の次第のこれまでの経過をごらんいただきたいと存じます。

まず、平成12年9月でございますが、北海道において北海道市町村合併推進要綱が策定され、この中で道内93通りの合併のパターンが示されました。その後、平成14年8月30日に南空知の岩見沢市・美唄市・三笠市・北村・栗沢町・月形町の6市町村により空知中央地域合併問題検討会を設置

し、3部会で地域の現状と方向性の検討を行いました。さらに検討を進めるために平成15年3月26日に6市町村長懇談会を開催し、空知中央地域任意合併協議会の設置を確認し、5月21日に空知中央地域任意合併協議会を設置いたしました。

さらに、5月29日に北海道知事あてに合併重点支援地域指定を要請し、平成15年6月10日、北海道で4番目の指定を受けたところでございます。

そして、平成15年6月2日に第1回任意合併協議会を開催し、8月27日までに5回の任意合併協議会を開催し、合併の方式など基本的な項目を含め、住民サービスや住民負担にかかわりの深い149項目の事務事業の調整、新市将来構想や財政推計などをまとめ、住民説明会用ダイジェスト版を作成し、それぞれの市町村において住民説明会やアンケートなどを実施いたしました。

その後、12月24日に6市町村による構成市町村長会議を開催し、6市町村による協議を12月末で終了することとし、岩見沢市・北村・栗沢町の3市町村による新たな枠組みによる協議へと移行し、平成16年1月23日に第6回任意合併協議会を開催し、22項目の事務事業の調整を行い、平成16年3月23日に、3市町村それぞれにおいて空知中央地域合併協議会設置が議決されました。

その後、平成16年4月1日に岩見沢市・北村・栗沢町による空知中央地域合併協議会を設置し、4月8日の第1回協議会を行い、5月19日の第3回協議会において基本項目等検討小委員会を設置し、8月28日までに6回の小委員会を開催いたしました。

その後、協議会は11月24日の第8回協議会までに、事務事業の調整や財政計画を含む新市建設計画に必要な27の協議項目、768の事務事業の調整について、それぞれ決定・承認をいただいたところであります。そして本日、第9回の協議会を開催し、これまでの協議結果をもとに調印式をとり

行う次第になったわけでございます。

以上、簡単でございますが、これまでの経過についてご報告を申し上げます。

以上でございます。

4．協定書調印

下野次長：続きまして、岩見沢市長・北村長・栗沢町長による合併協定書の署名・調印に入らせていただきます。

恐れ入りますが、調印席の方へご移動願います。

なお、合併協定書の内容につきましては、合併協議会において協議されました27の協定項目の協議結果について記載してございます。

また、合併協定書は3部ございますので、よろしく願いいたします。

それでは、合併協定書に署名・押印をお願いします。

(署名・押印)

下野次長：ただいま3市町村長による署名が終了いたしました。

5．立会人署名

下野次長：続きまして、立会人のご署名をお願いしたいと存じます。

立会人のご署名につきましては、北海道副知事山本邦彦様にご署名をいただきたいと存じます。係の者が席にお伺いしますので、そのままお待ち願います。合併協議会委員の皆様には、その場で立ち会いをお願いいたします。

(立会人署名)

下野次長：ただいま、すべての署名が終了いたしました。立ち会いの皆様、どうもありがとうございました。

6．記念撮影

下野次長：続きまして、記念撮影に入りたいと存じます。

3市町村長はその場にお立ち願ひ、恐れ入りますが、ご来賓の北海道副知事山本邦彦様は壇上の方へお上がり願ひます。

また、報道関係の方は、どうぞ前の方においでいただき、記念撮影をお願いいたします。

(記念撮影)

下野次長：そろそろよろしいでしょうか。

ありがとうございました。

それでは、お席の方にお戻り願ひたいと思います。

7．主催者挨拶

下野次長：続きまして、本調印式の主催者であります岩見沢市長・北村長・栗沢町長よりご挨拶を申し上げます。

初めに、渡辺孝一岩見沢市長よりご挨拶いたします。渡辺市長、お願いいたします。

渡辺市長：皆様、ご苦労さまでございます。

また、本日のこの調印式、人生においてもこれほどの緊張感はないのではないかなというくらい緊張させていただきました。しかし、この調印の重みというのはしっかりと受けとめながら、これからさらに邁進していきたいと思

っております。本日は本当に立ち会いという形でわざわざ山本副知事、来ていただきましてありがとうございます。

また、法定協の皆様、本当に今まで一緒にこの2年5カ月の間、いろいろ6市町村からの流れから言いますと、その長い期間あったかに思います。一言ではなかなか言いあらわせないようなこともたくさんありますけれども、私は思うのですが、この調印式がスタートなのかなというふうに思っております。今までの苦勞をぜひ糧として、これからどのような話し合いを進めていくかと、そしてどんなにすばらしいまちづくりをしていくかということが大事ではないかと思っております。ぜひ今後とも協力をお願いしたいと申し上げます。

最後になりますけれども、私も今までは岩見沢市長として8万3,500人の市民の皆様というふうに言っておりましたが、これからは9万5,000人の市民の皆様という形の中で、何とかすばらしいまちづくりに邁進していきたいと思っております。

本当に長い間、皆さんにご迷惑をかけて、またご協力を賜りましたことを、この場をかりて御礼を申し上げまして、私の挨拶にさせていただきます。

本当に皆さん、ありがとうございました。

下野次長：ありがとうございました。

続きまして、村上宗範北村長よりご挨拶いたします。村上村長、お願いいたします。

村上村長：北村長の村上でございますが、一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

ただいま多くの皆様のご出席のもと、3市町村によります合併に向けての協定書の調印式、無事終わらせていただいたところでもございます。

思い起こしてみますと北村の場合、明治33年、今からちょうど105年前でありますけれども、当時の岩見沢村から分村いたしました。そして歴史を積み上げながら、これまでまいったわけでございますけれども、人口の減少そしてまた少子高齢化という中で、大変うちの住民の人たちも将来に向けての大きな不安があったのは事実でございます。

そうした中で、ふだんの住民生活そのものも岩見沢を中心にしながら日ごろの経済活動そしてまた医療・教育と、ごく自然な中での生活を営んできたわけございまして、特に行政の対応といたしましても、岩見沢を中心にしながら水道、消防そしてまたごみやし尿、火葬場など、広域行政で取り組んできているわけでございます。

そういった中で、これから特に本格的な地方分権の到来という体制の中で、やはり住民が安心して住めるためには、行政基盤の強化が必要であるというようなことも住民の願いの中にあっただろうというふうに思っております。

そういった中で、北村の住民のことだけを申し上げますと、多くの人たちの合併に向けての選択がなされたということを基本にしながら、これから安心して住める空知の中核的な都市の構築という中で、これからも肩を並べながら、スクラムを組んで懸命に、この都市構築のために頑張ってまいりたいというふうに思っております。どうか、これからもひとつ皆様方のさらなるご協力、ご指導のほどをお願い申し上げますながら、お礼のご挨拶とさせていただきます。

本日は、まことにありがとうございました。

下野次長：ありがとうございました。

続きまして、山田晃睦栗沢町長よりご挨拶いたします。山田町長お願いいたします。

山田町長：栗沢町長の山田でございます。

非常に挨拶するに当たって、今までにない緊張と感慨無量のものがありますが、振り返りますと丸2年間、六つの市町村の話し合いから三つになって、これまた約1年間、本当に誠心誠意、精いっぱい話し合いをして、今日この晴れの日を迎えたことを、法定協議会の皆さん方に対して、そしてまた事務局の皆様方に対しても心からお礼を申し上げたいと思います。

また、本日のこの記念すべき調印式に山本副知事が立会人としてご出席いただいたことに対しても、心からお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

村上村長さんが少し歴史を話しましたので、私も一言だけ触れさせていただきます。

栗沢の場合は、岩見沢村から分村したのは明治25年の2月でございます。しかし、その時点では戸長役場というものがまだございませんで、岩見沢の村役場というか、そこに戸籍もすべてあずかっていて、そこに言うなれば兼任の戸長さんがいたという歴史になっておりまして、栗沢で戸長役場に戸長が赴任したのは、その5年後の明治30年からでございます。それから歴史を数えてきたわけですけれども、栗沢町は明治25年に分村したということになれば、今年は113年目を迎えているわけでございます。

そういった歴史の中で、栗沢としては農業と石炭とで、かなり元気のいい時代があったわけですが、今このような経済構造そしてまた産業構造の中で、一定の受け皿として国の交付税もなかなか思うように出せなくなってきているという環境、そしてまた地域それぞれの偏った問題が起きてきておりまして、小さなブロックでは一つ一つの問題を円満に解決できづらくなってきております。

そういった中で今、政府も道も広域合併あるいは本当にもう合併というようなことでの後押しをして今日まで呼びかけてきているわけですが、最後の

最後まで行って、法定協議会の崩れたのが北海道でも随分あるようでございます。そのたびに大変神経は我々もすり減らしてまいりましたけれども、我が町においてもアンケートの結果が72.7%、要約すると73%の町民の皆さんが合併に賛同いただいたということでございます。これは先ほども村上村長さんが話されていたように、もう経済圏、生活圏、教育圏またこれまでの一部事務組合としても消防を初め、ごみ、し尿、火葬場、そういったものがすべて栗沢、北村、岩見沢、一緒に今日まで歴史を積み重ねてまいりました。そういった意味では、一番合併して、一番すんなり行ける歴史を積み上げてきたと、私としては感じております。

岩見沢市民の皆さんからも非常に温かく迎え入れていただいたことに対してお礼を申し上げますが、この一定の受け皿ができ上がりまして、その長年の歴史を積み重ねた上で、さらなる一体感とともに発展していけることをお願いしています。過去の歴史とか栄光というものがあります。それはそれで大事にしながら、子や孫、未来に向けて新しい市を建設していける第一条件がしっかり備わったのではないかというふうに感じております。ぜひともそういう方向で前向きに和を旨として、新市の建設に皆さんとともに、また我々も一緒になって住みよいまちづくりに励んでまいりたいと思います。

今日までのご努力に対して心から敬意と感謝を申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。これからもよろしく申し上げます。

下野次長：ありがとうございました。

8. 来賓祝辞

下野次長：続きまして、ご来賓よりご祝辞をちょうだいいたしたいと存じます。北海道副知事山本邦彦様、お願いいたします。

山本副知事：北海道副知事の山本でございます。

本日の岩見沢市・北村・栗沢町の合併協定調印式に当たりまして、私からも一言お祝いを申し上げたいと存じます。

ただいま合併協定書への署名・調印、滞りなく終わりました。まずは心からお祝いを申し上げたいと存じます。

岩見沢市の渡辺市長様、北村の村上村長様、そして栗沢町の山田町長様を初め、合併協議会の委員の皆様、これまでそれぞれの地域の思いというものを目にされて真剣な議論を重ねられ、そしてお互いのまちを理解し合いながら、新しいまちづくりに向けて合意を形成されてこられたということで、ここに至るまでのさまざまな問題に直面されて、時には苦渋の決断もあったかと思えます。そうした一方ならぬご苦労に対しまして、深く敬意を表する次第でございます。

今日、我が国におきましては、地方分権の動きというものが大変大きな時代の潮流となっております。つまり地域のことは地域で決定をする、自己責任で決定をして、それを実行する、そうした体制を整えまして、そういう実力を培っていかねばならない、そういう状況にあるというふうに認識をいたしているわけでございます。

特に住民の方々にとりましては、最も身近な市町村に対して大変大きな期待、役割というものを期待されているのだろうというふうに存じます。一方では今後予想されます人口の減少問題もございまして、また財政状況も大変厳しさを増しているわけでありまして。そうした中で必要な行政サービスというのを提供していくためにも、これまでの行政のやり方というものを、あるいは仕組みというものを抜本的に見直しをしていかねばならない。そして、そうした上で市町村の行政体制というものを充実強化していくことが求められているのだろうというふうに考えます。

こうした課題に、まさに正面から向き合い、そして地域の将来の姿という

ものを見据えられまして合併という道を選択された皆様のご判断、これは後生におきまして、地域住民の暮らしというものを第一に考えた、まさに勇気ある英断であったというふうに、必ずや評価されるのではないかというふうに私自身も確信をいたしているところでございます。

岩見沢市・北村そして栗沢町、石狩川流域のまさに広大で肥沃な耕地など自然の恵みを生かされまして、道内有数の穀倉地帯ということで発展されてきた地域であります。ブランド米の生産を初めといたしまして、付加価値を高める農業経営の展開にも本当に力を注いでいらっしゃると思います。

また、お話もございましたが、歴史的に見ましても栗沢町は明治25年、北村は明治33年に、当時の岩見沢村から分村したという経緯もございます。そういう意味で今日に至るまで、この3団体は住民の方々の交流も活発に行われてきている、そういう地域であろうかというふうに存じます。

こうした深いつながりというものを踏まえられまして、皆様の決意そして合併によって生じる一つのエネルギー、これを今後さらに新しいまちづくりに向けられまして、地域住民の皆さんが一体となって、より一層個性豊かで、そして活力ある、まさに道央圏の中心的な役割を担う、そういう地域として発展されますことを心からご期待を申し上げる次第でございます。

結びに当たりまして、これまでこのように先進的にこの合併協議に取り組んでいらっしゃいました皆様の今後のますますのご健勝そしてご活躍、そして新しいまち岩見沢市のご発展をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、まことにおめでとうございました。

下野次長：ありがとうございました。

9 . 閉 会

下野次長：以上をもちまして、岩見沢市・北村・栗沢町合併協定調印式を終了いたします。ご臨席の皆様、本日はどうもありがとうございました。